

(1) NPO 本部の機関運営について

- ① 総会
法人の最高意思決定機関である総会を5月26日(日)に開催します。
- ② 理事会(理事11名、監事2名)
事業計画及び収支予算の執行に関する事項、日常業務に関する事項等法人運営に関わる事項を審議、議決します。毎月開催します。早急な審議事項としては、次のとおりです。
1. COCO たかくら賃貸借契約の見直しにつて
2. 入居契約の変更につて
3. 食事サービスの変更につて(月額負担額の変更を含む)
- ③ 役員会(理事長、副理事長、常務理事)
法人運営に関わる重要事項を審議し、理事会に諮ります。随時開催します。
- ④ 事務局(3名体制)
予算執行、財務管理等法人運営に関わる日常的な機関事務を行います。

(2) グループリビング運営事業について

- ① 居住者支援
「自立と共生」の下、快適で安全な暮らしを続けられるようライフサポーターを配置し、日常の生活支援と相談支援を行います。
- ② 共用部分の管理・活用支援
共用部分を清潔かつ安全に保つとともに、共用部分の利用が生活の共同性を豊かにするように活用の支援を行います。
- ③ 新規入居者及び退去者支援
新規入居者に対しては入居時オリエンテーションを行い、生活支援に配慮します。また、退去者については居室片付け、引越し、各種届出等の支援を行います。
- ④ 居住者間の交流
居住者による主体的なミーティングを毎月開催し、生活上の問題や行事について話し合います。
- ⑤ 安心、安全な住まいの提供
建物、住宅設備の管理については専門業者に定期点検と報告を委託し、安心、安全な住まいの維持管理を図ります。
- ⑥ 防災・減災対策
北消防署による立入検査を実施し、点検指導を受けます。また、自主避難訓練も合わせて行います。

(3) グループリビングの啓発普及事業について

- ① 会報の発行
年3回発行(7月、10月、1月)・毎号2,000部印刷
配布先:正会員、賛助会員、各市民センター、行政機関、関係団体等
上記のほかCOCO湘南見学者、イベント等で配布
- ② ホームページによる情報発信
昨年10月リニューアルしたホームページにより、法人の最新情報を全国に発信していきます。
- ③ COCO湘南見学会
グループリビング(以下、「GL」に略)の理解を深めてもらう目的でGLに興味がある方、将来の住まいの選択肢として知りたい方、設立を目指している方等を対象に随時見学を受けていきます。

- ④ 取材・調査協力
出版社、新聞社、テレビ局等各種メディアの取材や大学、行政関係者の調査見学を積極的に受け入れ、GLの普及啓発を図ります。
- ⑤ グループリビング運営協議会への参加と講師及びシンポジストの派遣
グループリビング運営協議会への参加を通じて全国のGLとネットワークを構築し、GLの普及啓発に努めます。
- ⑥ 学生等の研修の受け入れ
次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを学んでもらう機会となるようCOCO湘南台を研修の場として提供します。
4月18日 藤沢市立看護専門学校3年生23名
9月20日 藤沢市立看護専門学校3年生24名



NEWS

熊澤淑子さんが
瑞宝双光章を授与されました！



10月7日
COCOたかくらで
表彰式が
ありました。

入居者募集中 COCOたかくら 1名 問合せ先 TEL 0466-46-4976

高 齢 者 グ ル ー プ リ ビ ン グ 普 及 活 動 2019年4月~10月

- 4月16日 藤沢市立看護専門学校の授業をCOCO湘南台で行いました。
- 9月5日 神奈川県高齢福祉課の査察がありました。
- 5月10日 COCOたかくらで週刊朝日の取材がありました。
- 9月13日 藤沢市立看護専門学校の授業をCOCO湘南台で行いました。
- 7月18日 COCOたかくらで主婦の友社(月刊ゆうゆう)の取材がありました。
- 10月7日 伊勢原市の民協高齢者福祉部会の研修として11名の見学がありました。

編集後記

我が国では、健康日本21を政策として展開し国民の健康の増進の総合的な推進を図っています。その中に社会的な関わりが少なくなった高齢者は日常生活が非活動的になり、身体的生活機能のみならず、精神のおよび社会的な生活機能をも低下することが指摘されています。そして、高齢者が身体活動量を増加させる方法として、まず、日常生活の中であらゆる機会を通じて外出すること、ボランティアやサークルなどの地域活動を積極的に実施し、そのうえで、積極的な健康づくり行動としての体操、ウォーキング、軽スポーツなどの運動を定期的に行うことが推奨されています。すこしやすい季節になりました。外出・地域活動・定期的な運動を始めませんか。

編集者*大江守之
熊澤淑子
青木静恵
土井原奈津江



COCO

Community & Cooperative

No.50

2019年10月30日
発行所 / COCO湘南
〒252-0804 藤沢市湘南台 7-32-2
Tel:0466-46-4976
Fax:0466-42-5767
発行者 / 大江守之



浦河べてるの家から
共同居住について考える



NPO法人COCO湘南
理事長 大江守之

今、北海道浦河町に来ている。「べてるの家」の共同居住についての研究の一環として2度目のフィールドワークを行なっている。「べてるの家」の始まりは、浦河日赤病院の精神科を退院した当事者(精神障害をかかえる人)数人が、1978年に古い教会堂で共同生活をするようになったことだった。彼らを支援してきた牧師が1984年にその旧教会堂を「べてるの家」と名づけた。この名称は、そこに住む人びとの暮らしを含む小さな共同体をさす言葉となり、現在では当事者を中心とするコミュニティをさす言葉になっている。TBSのディレクターだった斉藤道雄氏はその著書『治りませんように—べてるの家のいま』(みすず書房、2010年)で、「べてるの家のメンバーはいまざっと百人から百五十人、統合失調症などの病気、生きづらさを持つ当事者や支援者が、自分がそうだと思えばメンバーになることができるという、境界のない共同体が形づくられてきた」と書いている。

浦河で取り組んでいる研究は、旧教会堂を含め、現在は9ヶ所にまで拡大した共同住居(制度上はグループホーム)での共同居住はどのようなものなのかを明らかにしたいという動機からスタートした。「境界のない共同体」となった「べてるの家」の出発点である共同住居に住むということは、そのコミュニティのなかでどのような位置をしめ、当事者にとってどのような意味を持っているのかという問いをもって、インタビュー調査などを進めている。

9ヶ所ある共同住居は、部屋数、建物の老朽度、居住者の性別・年齢・居住歴等の構成様々など属性がそれぞれ異なっており、その共同性にも差異がある。興味深いのは、旧教会堂が老朽度という点では条件の悪いグループに入るにもかかわらず、居住者も関係者もここを評価する人が少なくないことである。関係者の一人は、べてるの家がもっとも大切にしてきた理念「弱さを絆に」が、日々の暮らしのなかに息づいているからだと話してくれた。当事者それぞれが抱えている弱さ(生きづらさ)に起因する問題行動をルールで縛ったり正したりするのではなく、弱さを知らせ合うこと(弱さの情報公開)で助け合いが生まれ、問題行動のリスクを軽減でき、あたたかい雰囲気も生まれるという。直接的ではないが、グループリビングの暮らしにもつながる実践知だと思う。

第21回NPO法人COCO湘南総会報告

5月26日にCOCO湘南台で第21回通常総会を開催しました。出席正会員数は50人（うち委任状28人）のもと、真摯なる討議が行われ、全ての議案において、可決承認されました。

2018年度事業報告



1 会員数 (3月31日現在)

	正会員		賛助会員	
	個人	団体	個人	団体
2017年度	62	6	64	4
2018年度	49	5	36	4

2 グループリビング入居状況

1) 生活者の状況 (3月31日現在)

	湘南台	たかくら	合計
2017年度	9	9	18
2018年度	9	6	15
退去	2	3	5
入居	2	0	2
平均年齢	80.6歳	82.3歳	81.5歳
最高年齢	91歳	87歳	—

2) 居住者ミーティングの開催

居住者による生活上の問題や行事についての話し合いの場として各グループリビングにおいて毎月定例で開催しました。

3) 地域交流事業の開催

各グループリビングにおいて地域交流の一環としてサロンコンサートを開催し、長年に亘って食事サービスを担ってきた「ワーカーズコープおり〜ぶキッチン」のメンバーを招待してのおり〜ぶ感謝会としました。

COCO 湘南台

11月19日 ジャズコンサート (ハートフルフレンズ)

COCO たかくら

10月15日 ポップスコンサート (ピアノ連弾演奏)

4) 食事サービスの委託先の変更

COCO 湘南台開設後長年に亘って食事サービスを担ってきた「ワーカーズコープおり〜ぶキッチン」が解散となり、2018年10月より「菜根や」(六会の小規模多機能施設「あおいけあ」)の食事サービスを受託)に委託変更し、ケータリング方式の食事サービスとなりました。



3 理事会の開催

事業計画及び収支予算の執行に関する事項、日常業務に関する事項等法人運営に係る事項について以下のとおり理事会を計10回開催し、審議しました。

4月19日 第79回理事会

1. 法改正に伴う貸借対照表の公告義務について
2. COCO たかくらの食事サービスについて
3. 次期理事候補について

5月17日 第80回理事会

1. 総会議案について
2. 食事サービスについて

6月1日 第81回理事会

1. 代表役員の選定について

6月18日 第82回理事会

1. 理事の役割分担について
2. 食事サービスについて

7月25日 第83回理事会

1. 土地建物賃貸借契約について
2. 食事サービスについて

9月10日 第84回理事会

1. 土地建物賃貸借契約について
2. 食事サービスについて
3. 居住者のケアへの対応について

11月6日 第85回理事会

1. COCO たかくら賃貸借契約について
2. ライフサポーターの居住者ケアへの対応について

12月18日 第86回理事会

1. COCO たかくら賃貸借契約について
2. ライフサポーターの居住者ケアへの対応について

1月31日 第87回理事会

1. GLにおける居住継続・転居の判断について
2. 県所管課からの有料老人ホーム登録の要請について
3. 契約時の重要事項説明書及び入居金契約方式について

3月5日 第88回理事会

1. 契約方式の変更について
2. 収支状況について

4 ライフサポーター会議の開催

各グループリビングに配置されているライフサポーター同士の情報共有と意見交換を通じ、業務内容の点検と整理を行いました。(3回開催)

5 情報発信

1) 会報の発行

年3回発行(4月、11月、3月)・毎号2,000部印刷
配布先: 正会員、賛助会員、各市民センター、行政機関、関係団体等

内容: 2018年4月 No.47 グループリビング啓蒙普及活動、COCO 湘南台ミュージアムの紹介、川崎ワークショップ報告等
2018年11月 No.48 第20回通常総会の特集
2019年3月 No.49 COCO たかくらの居住者と暮らしの紹介等

2) ホームページによる発信

10月にホームページのリニューアルを行い、グループリビングの暮らしの紹介とともに法人組織や活動に関する最新情報を提供するようにしました。

6 COCO湘南見学会

グループリビング(以下、「GL」に略)の理解を深めてもらう目的でGLに興味がある方、将来の住まいの選択肢として知りたい方、設立を目指している方等を対象に以下のとおり見学会を開催しました。

6月6日 愛知県半田市議会議員、地区コミュニティ運営委員長、一級建築士計3名 駅前再開発事業に伴う視察

6月8日 群馬県の住宅型有料老人ホーム(5ヶ所)運営者代表1名、ホーム運営の参考に見学

6月25日 滋賀県東近江市の介護事業者1名
今後グループリビングの運営方式を参考に高齢者住宅を建設予定

6月28日 横浜市旭区若葉台団地「共に老いることを考える介護の会」
会員4名 急速な高齢化が進む団地の中で「自立と共生」の理念を生かして活動していきたい。

10月6日 福祉住環境コーディネーター協会会員10名
COCO たかくら見学

12月7日 大阪の病院勤務の医療ソーシャルワーカー1名
将来グループリビング建設を計画しCOCO せせらぎの紹介で見学

1月7日 共生の住まいに関心を持つ東京在住の方1名(アパート所有者)

7 講師及びシンポジスト派遣

10月4日 東京都住生活月間セミナー2018『超高齢社会におけるまち・住まいのかたち』の講演者、パネラーとして大江理事長参加

3月30・31日 2018年度川崎シンポジウム(NPO法人暮らしネットえん主催、グループリビング運営協議会共催、公益財団法人JKA後援)
『高齢者グループリビングと共同性』『高齢者グループリビングの居住とケア』をテーマにシンポジウム講師として大江理事長、土井原理事参加

8 学生等の研修の受け入れ

次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを学んでもらう機会となるようCOCO 湘南の講師による研修をCOCO 湘南台で開催しました。

4月18日 藤沢市立看護専門学校3年生21名
講師: 土井原理事

9月12日 藤沢市立看護専門学校3年生28名
講師: 土井原理事

9 取材・調査協力

出版社、新聞社、テレビ局等各種メディアの取材を受け入れ、GLの普及啓発を図りました。

4月4~6日 テレビ朝日系列の報道番組『サンデーモーニング』
グループリビングに暮らす高齢者の生活を通じて、シェアハウスとは違ったグループリビングCOCO たかくらを紹介、4/15放送

7月6日 韓国iTVの取材、COCO たかくらで撮影
高齢者に正しい住居文化を紹介する特番ドキュメンタリー番組制作

8月28日 NHK ラジオ深夜便
西條節子元理事長出演(6月取材インタビュー)

NPO法人COCO湘南の概要

活動の目的 ▶ COCO湘南は、高齢者のためのバリアフリー・グループリビングや高齢者地域活動センターの運営とその関連事業を通じて、高齢者の健康的で文化的な生活を支援し、明るい地域社会づくりに貢献することを目的とします。

活動の種類 ▶ COCO湘南は、目的を達成するために、①福祉の増進を図る活動 ②社会教育の推進を図る活動 ③まちづくりの推進を図る活動等を行います。

事業の種類 ▶ COCO湘南は、①高齢者バリアフリー・グループリビングを開設し、運営する事業 ②高齢者への家事援助、介助並びに介護サービスの事業 ③高齢者のための生涯学習、リクリエーションの事業 ④高齢者の地域連帯を促進し、「自立と共生」を支援する事業を行います。

事務局 ▶ 住所: 藤沢市湘南台7-32-2 中野 満 電話: 0466-46-4976 Fax: 0466-42-5767
メール: coco-shonan@jcom.home.ne.jp HPアドレス: http://www.cocoshonan.org/